

やくばの仕事

ご紹介いたします⑦



昨年の9月から7回シリーズで、役場の仕事を紹介してきましたが、今回で最終回となります。役場は、様々な部署に分かれていて、仕事も多岐にわたっています。住民の皆さんが、ちょっとした困りごとなどについて、この窓口に行けば良いのかなど、役場の仕事をご理解いただくことを目的として連載してきました。これで連載は終了しますが、住民の皆さんにとって、役場の存在が少しでも身近なものとなることを願っています。

学校給食センター 小山 政司まさし 所長



学校給食センターでは、平成18年9月に開設したオール電化方式による施設で給食を作っています。施設の能力は、最大3500食を作ることができますが、現在の食数は小

中学校合わせて6校、約3000食を作っています。

調理については、最新機器を導入したことで、今までにできなかった野菜のシャキシャキ感を残しての調理も可能となり、新しい献立も作れるようになりました。今後も安定した給食の提供ができるように努めていきます。

管理係 学校給食センター運営委員会および給食費、食材の調達に関することなど。

調理係 献立、調理および輸送並びに衛生管理に関すること、食品栄養の研究に関することなど。

公民館

市川 実 館長

な対応に努めています。



「何時も笑顔で！」をモットーに親切丁寧に

公民館では、地域住民の皆さんの生涯学習の拠点施設としてサークルなどの活動支援や、多様なニーズに応えられるよう、様々な分野の教室、講座、イベントなどを実施しています。

中央公民館 中央公民館には、大人数の講演会や会議、室内スポーツ、軽運動などが行える講堂兼体育室のほか、視聴覚室やギャラリー、陶芸窯室などがあります。

東公民館 東公民館には、発表会、コンサート、ダンス、軽運動など多目的に利用できる学習ホールめじろのほか、コミュニケーションルームゆずなどがあります。

歴史民俗資料館

村木 功いさお 館長

歴史民俗資料館では、原始・古代の遺跡の発掘調査のほか、町内の様々な文化財を幅広く調査し、貴重なものは町指定文化財に指定するなど、その保護・保存に努めています。

研究し、その成果を特別展や企画展などをおして町民の皆さんに広く公開しています。

地域に根ざした資料館として、小・中学校との連携、協力団体やサポーターとの協働など、学校教育・生涯学習の場としても有効に機能するよう努めています。

また、博物館の主要業務と同様の専門的業務を行う学芸員が配属されており、文化財の専門的調査や研究を行っています。



また、収集・保存した資料を詳しく分析、